



大津市立晴嵐幼稚園 園長 平尾かなめ
大津市鳥居川町15-22
☎・FAX 537-1578 Otsu2714@city.otsu.lg.jp

晴嵐幼稚園の
教育目標

3つの「あ」

あいさつのできる子ども
あきらめない子ども(考える子ども)
あいてのことも考えられる子ども



陽光に誘われ山笑う季節になりました。晴嵐幼稚園の子どもたちも、いよいよ進級・進学を目前に控え、自信に満ちた笑顔が溢れています。

さて、去る3月13日(金)に、来賓の皆様や多くの保護者に見守られ、令和7年度第88回修了証書授与式を挙行了しました。しっかりと目を合わせて証書もらう姿や、元気に返事をしたり、ありがとうと伝えたりする姿にこれまでの成長の軌跡を思い胸が熱くなりました。元気いっぱい笑顔で巣立っていく17名の子どもたちは4月から1年生です。引き続き地域の中で温かく見守り、お導きくださいますようよろしくお願いいたします。



修了証書授与式の様子

卒園した5歳児の保育室で…

ガラ〜んと寂し気な保育室に朝から様子を見に行く3・4歳児。「そら組(5歳児)さん、今頃小学校に行ってるのかな…」と話している声が聞こえてきます。寂しさを感じながらも、5歳児の担任に5歳児の保育室で絵本を読んでもらい大喜び!新しく入ってきた小さいお友達に優しく幼稚園のことを教えてあげる内容だったこともあり、次は自分たちが!と張り切っています。頼もしいですね。4月が楽しみです。



「きみたち きょうから ともだちだ」
朔北社:中川ひろたか作:長谷川義史絵

文部科学大臣表彰(子供の読書活動優秀実践園)受賞のご報告とお礼

この度、晴嵐幼稚園は文部科学省より「令和8年度子供の読書活動優秀実践園(文部科学大臣表彰)」という大変名誉ある賞をいただくことになりました。これまで園の経営方針の柱として力を入れてきた「絵本の読み聞かせの充実」。たくさんの絵本に触れる中で、子どもたちは豊かな言葉を知り、想像を広げ、日々の遊びの中で「自分の思いを伸び伸びと表現する力」を大きく伸ばしています。また、絵本を通して様々な登場人物の気持ちに寄り添う経験や様々な人を読んでもらい交流することは教育目標である「3つのあ」の一つ、「相手のことも考えられる子ども」を育てるための土台にもなっています。

今回の受賞は決して園だけの力で得られたものではありません。ご家庭で子どもと一緒に絵本を開き、

温かい時間を共有してくださっている保護者の皆様、そして、地域の晴嵐コミュニティ図書様や保護者ボランティア絵本読み隊、晴嵐小学校の図書委員さんの読み聞かせ、図書環境の充実や子どもたちの育ちを温かく見守ってくださる地域の皆様の支えがあったからこそと、心より感謝申し上げます。

子どもたちが「本って楽しいな」「お話を聞くっておもしろいな」と目を輝かせる瞬間は、私たちにとって何よりの宝物です。これからも絵本の世界を楽しむことを通して自分から思いを伝え、相手の思いにも耳を傾けられる豊かな心を、皆様と共に育てていきたいと願っております。

今後とも本園の取組に変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。